

学習内容報告書 フォーマット

学校名	北海道標津高等学校
授業者	鈴木 祐二

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海洋環境・海洋資源時事問題読み解き課題

1-2. 学年

3 学年 選択生徒

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生物

1-4. 単元の概要

<p>新聞記事を教材（NIE）として水産資源の管理および海洋環境保全に繋がる時事問題を読み解き、小論文形式で各自の意見をまとめる。シロザケの遡上魚の小型化について、孵化増殖事業と合わせて、北太平洋やオホーツク海的环境収容力を考察し、持続可能なサケ資源の維持について学習を深める。さらに、海洋プラスチック問題をテーマに取り上げ、1 学年時に野付巡検で回収した海洋ゴミと結びつけることで世界的視野からのプラスチック問題について考察する。合わせて SDGs に関する学習を行う。</p>
--

1-5. 単元設定の理由・ねらい

<p>海洋に関する時事問題に対する興味関心を高め、記事を読み解くことによる読解力の向上が期待できる。また、小論文形式にすることで自らの意見をまとめる表現する力を育成することを目的とする。さらに、SDGs に関する基礎知識を新聞の特集記事等から学び、国際社会の中の日本の役割について考えることができる。</p>
--

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> ・海洋に関する時事問題に興味関心をもち、解決しようとする態度。 ・自分の意見をまとめ発表し、表現する力。

1-7. 単元の展開（全 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
		<ul style="list-style-type: none"> ・単元に関係なくその時々の記事を用い学習を展開する。 ・新聞記事の読み解きを各自で行いそれぞれが持つ

		<p>意見を交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字数を制限し、小論文形式の課題とする。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文課題より評価
		<p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新聞記事

1-8. 単元と関連実施項目

生物における環境問題を水産資源、海洋プラスチック、SDGs から読み解ける新聞記事を使い随時学習を行う。特に関連深い項目としては、「生態と環境（生物）」、「生物の多様性と生態系（生物基礎）」が挙げられる。

- <実施課題>
- ・サケの小型化・資源量の減少に関する読み解き課題
 - ・廃プラスチックの輸出入規制、海洋への流出に関する課題
 - ・SDGs 1～6に関わる記事（北海道新聞）

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海洋環境・海洋資源時事問題読み解き課題

- ・海洋問題に興味関心を持つ。
- ・海洋に関する諸問題を国際的に解決する方法を考え、自らの考えをまとめ表現できるようになる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
事前準備 ・新聞切り抜きと学習シートの作成・印刷	・新聞記事の読み解きのポイントを指導
導入 10分 ・新聞記事配布 ・記入シート配布	課題シート評価 ・字数制限を加えて、まとめることができたか。
・記事の黙読 ・意見交流	・内容の読み解きができただか。

3. 今回の活動の自己評価

生徒の小論文対策にもなり、また環境系大学等の進学生徒にとって推薦入試対策にもなった。一度書いた課題をさらに深めて自ら取り組む生徒もあり、主体的に学ぶ機会となった。ほとんどの生徒が SDGs に興味関心を持つことができた。

4. 今後の課題

・授業の進度を考え、あまり多くの課題に取り組ませることができなかった。長期休業における課題として課しても効果があったのではないかと思われる。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・新聞教材の厳選が大切である。